

保育士の活動

1. スタッフ（2018年4月1日現在）

2 A病棟：高根沢麻美・長島 千景・藤原 亜依

3 A病棟：中村 崇江・櫻井 綾

4 A病棟：堀内けい子・江本 恵美・正木 康世

2. 保育士の役割

子どもと家族が安心して入院生活ができるように、子ども達それぞれに合った遊びの提供を主な業務としている。また、日々のかかわりをとおして、子どもの心理面を支援し、家族とのかかわりをとおして家族の支援を行っている。入院という体験が、子どもや家族にとって価値のある経験につながってくれたらという思いでかかわっている。

短期入院の子ども達には心身の安定を図ること、長期入院の子ども達には生活の場を整えることや成長発達を支援すること、検査や手術の子ども達には、不安の軽減や気分転換・痛みが緩和できる遊びを提供できるように、個別性を考慮した計画を立て、実践している。

家族に対しても、入院生活を不安なく送ることができるよう、きめ細やかな情報提供を心がけ、コミュニケーションを密にして支援をしている。

保育活動は、子ども医療センター内だけにとどまらず、NICUに入院している子ども達にも積極的に、そして継続的に行った。また、PICUに入院している子ども達への遊びの提供や発達支援のための保育も実施した。

日本医療保育学会認定「医療保育専門士」：3名

中村 崇江・堀内けい子・櫻井 綾

3. 実績・活動

1) 平成29年度の主な行事

①子ども医療センター全体で行った行事

月 日	行事名
5月15日	しまじろう ミニコンサート
5月23日	ホタル観賞会
6月21日	セラピードッグ（1回目）
9月6日	大友 剛ミニコンサート
10月11日	ドナルドアピランス
11月29日	セラピードッグ（2回目）
12月13日	サクソコンサート

②病棟ごとの行事

月	行事名	病棟
5月	こどもの日	2 A病棟
7～8月	夕涼み会	2 A・3 A・4 A病棟

10月	ハロウィン	2 A・3 A・4 A病棟
12月	クリスマス会	2 A・3 A・4 A病棟

新しい催しであるドッグセラピーは、行事として定着し、子ども達と家族はもちろん、医療者も笑顔にあふれ心温まる1日を過ごした。

③クリニック라운の訪問

昨年度に引き続き、今年度も4A病棟と2B病棟に4回訪問していただいた。

*その他、エプロンシアター、手品、合唱、楽器演奏、バルーンアートなどを各々の病棟で開催した。

2) 保育士教育

医療現場における保育士が、医療保育実践能力を向上させ、子どもや家族に質の高い保育を提供できることを目的に、子ども医療センター内の看護師長・主任看護師・主任保育士で構成される教育グループで、保育士ラダーと研修内容の検討を重ね、教育を企画・運営することができている。

今年度は、レベル2の保育修を実施し、受講者3名が合格した。また1名の保育士が日本医療保育学会認定医療保育専門士資格取得研修会を受講後、医療保育専門士の資格試験に合格し、医療保育専門士が3名となった。

3) その他

・第22回日本医療保育学会総会・学術集会を当院主任保育士が会頭となり、6月10日、11日の2日間にわたって開催した。

・保育活動に必要な物品の管理を行っている。

・卒業論文への協力 1件

<院外活動>

・子ども療養支援協会主催の平成29年度子ども療養支援士養成コース後期講義の講師「多職種との協働」

・「ひとり一人の多様性に気づくスクールシャルワーク」編者 新井英靖、佐々木千里、鈴木庸裕 実践エピソード編 の分担執筆

・日本医療保育学会資格認定取得研修会講師

・医療保育専門士の口頭試問の審査

4. 2018年の目標・事業計画等

・保育士ラダープログラムに沿って研修を実施し、専門職としての質の向上に努める。

・各病棟の特徴にあった保育を実施する。

・NICUやPICUの保育のニーズを把握し、保育を継続的に行き充実させる。